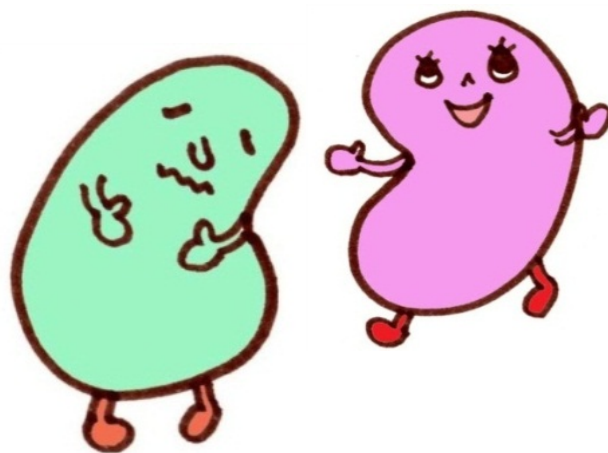


熊本市のCKD対策



成人の8人に1人

CKD【慢性腎臓病】

8

熊本市健康福祉局 保健衛生部
健康づくり推進課
副課長 谷 昭子

本日の説明内容

- 1 市のプロフィール
- 2 CKD（慢性腎臓病）とは
- 3 CKD対策の背景
- 4 CKD対策の取組(2009～2014)
- 5 CKD対策の結果

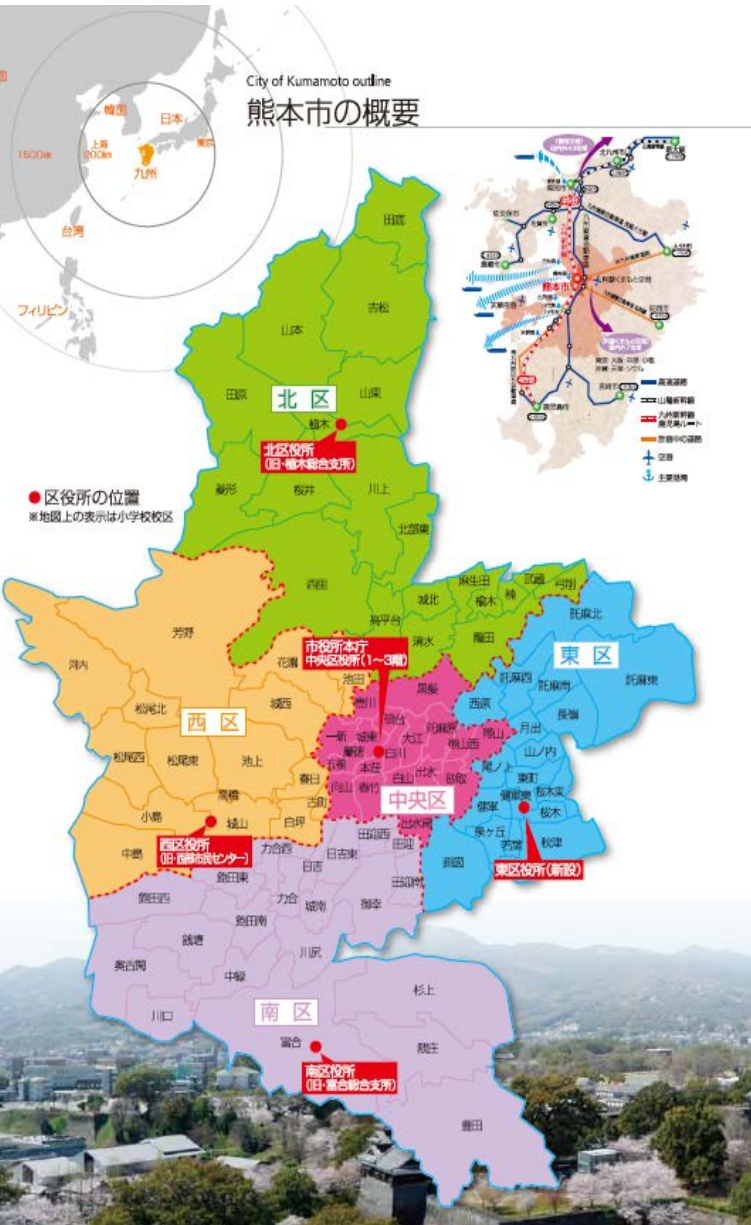
熊本市のプロフィール

- ・人口 (H26年) 740,204人
- ・面積 389.54 km²
- ・平均気温 16.9 °C
- ・平均降水量 1985.8 mm
- ・高齢化率 (H26年) 23.5%
- ・合計特殊出生率 (H26年) 1.50人
- ・平均余命 (H22年) 男性80.9歳
女性87.1歳

市の抱える健康課題

熊本市は、年間平均気温16.9°Cと温暖でまた、74万市民の水道水源を全て地下水で賄っている。これは人口50万人以上の都市としては日本唯一である。

このような水の豊かな熊本市では透析導入者数が全国的に最も高い水準にあった。



腎臓の働き



● 尿をつくる

血液をろ過し、体の必要なものは体内に、不要なものを尿として体外に排出する

● 血圧をコントロールする

● 骨を強くする

ビタミンDを活性化させる

● 造血ホルモンを作る

エリスロポエチンという造血ホルモンを分泌して骨髄に赤血球を作らせる

CKD（慢性腎臓病）とは

急性糸球体腎炎
慢性糸球体腎炎
IgA腎症
糖尿病性腎症
腎硬化症
痛風腎・・・etc.



Chronic Kidney Disease

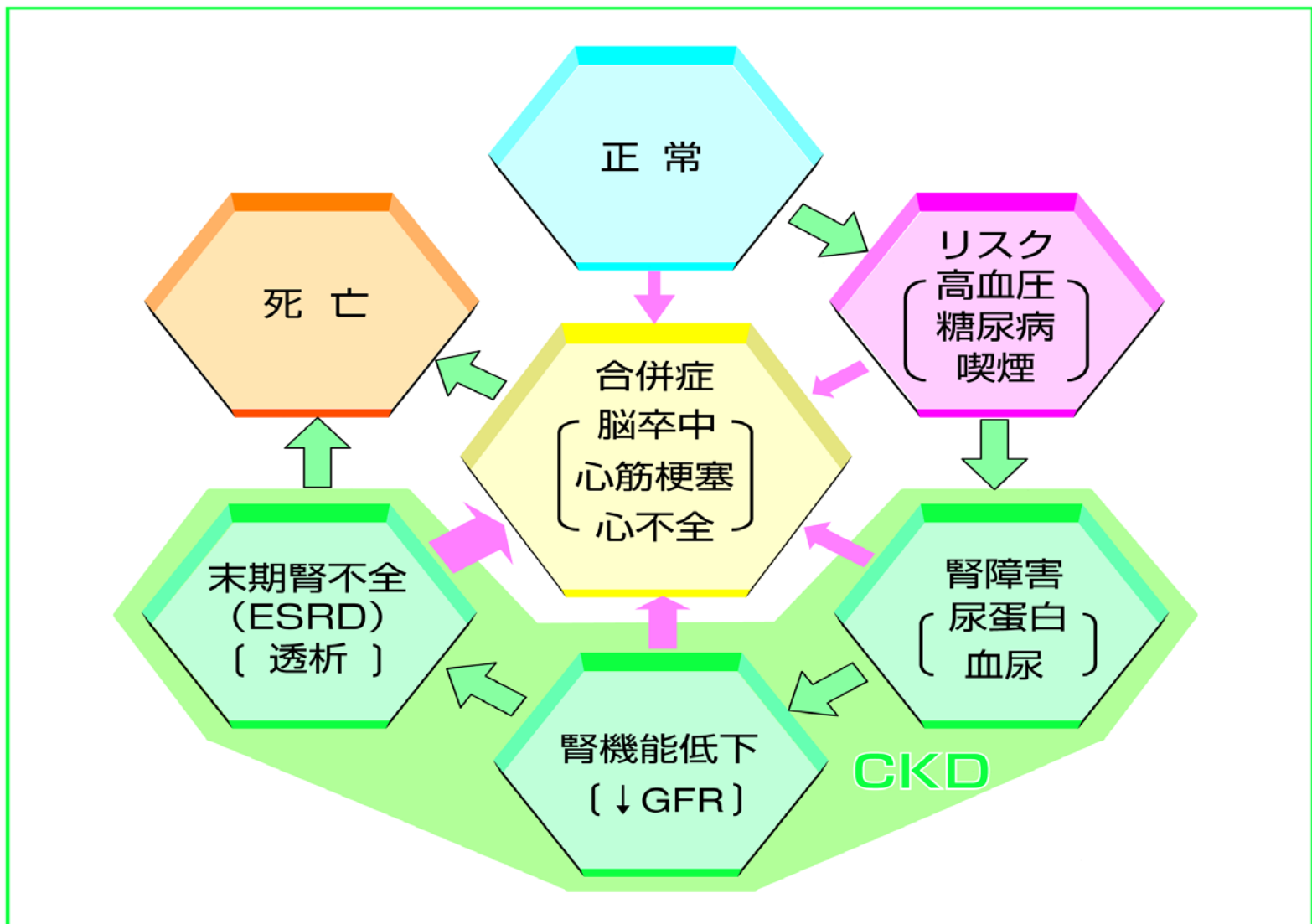
- ★患者さんに理解しやすい！
- ★専門医でなくても理解しやすい！

CKDの定義

- ① 尿異常，画像診断，血液，病理で腎障害の存在が明らか。
特に**蛋白尿**の存在が重要
 - ② 糸球体ろ過量（GFR※）
<60mL/分/1.73m²
- ①,②のいずれか、または両方が**3カ月以上持続する**

※GFRとは糸球体ろ過量のこと、「クレアチニン値（血液検査）、年齢、性別」を加味した計算式で推算することができる。この推算したGFRを「eGFR（推算GFR）」という。

なぜ、CKDは重要なのか



CKDの発症と進行の概念

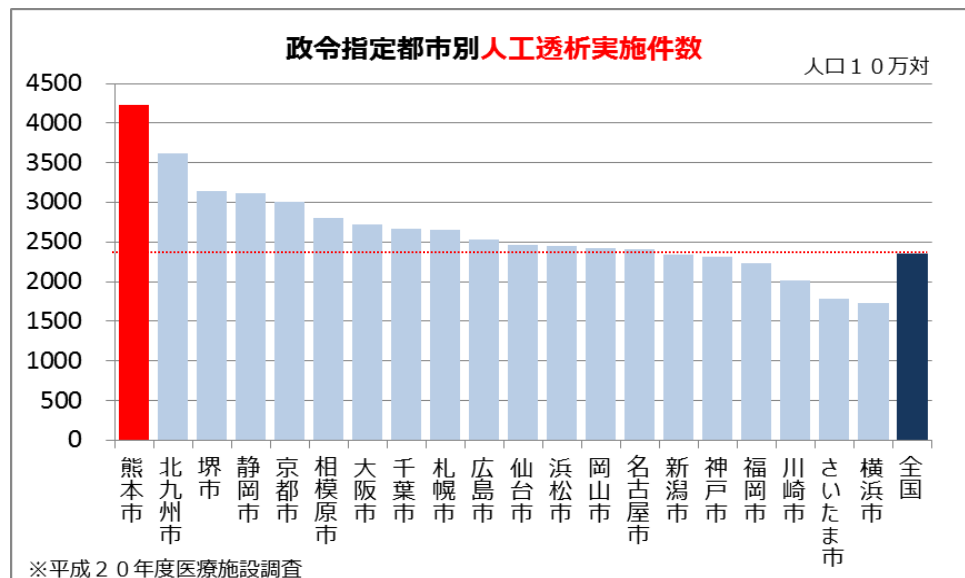
CKD対策の背景

・本市の人工透析導入者数は人口比で**全国平均の1.47倍**と最も高い水準にあり、新規透析導入者は**年間295人**に上っていた。

・CKDが死因の上位を占める**心血管疾患の重大な危険因子**であることが判明

・**予防、治療が可能**になった

・自覚症状がなく、**潜在患者が数多く**いることが予測された
(約7万5千人のCKD患者)



CKD対策 準備期

- ・平成17年～ 国民健康保険課での医療分析
→ 腎不全が全体の6%、県より10年早く人工透析開始
- ・平成18年～ 糖尿病予防プログラム・行動計画 → うまく動いていない状況。



担当者の新たな熱い思い！！
「人工透析患者の導入を減らす」

CKD対策の検討を始める！



平成20年10月 活動開始！



熊本市内腎臓専門医、医師会理事へ訪問

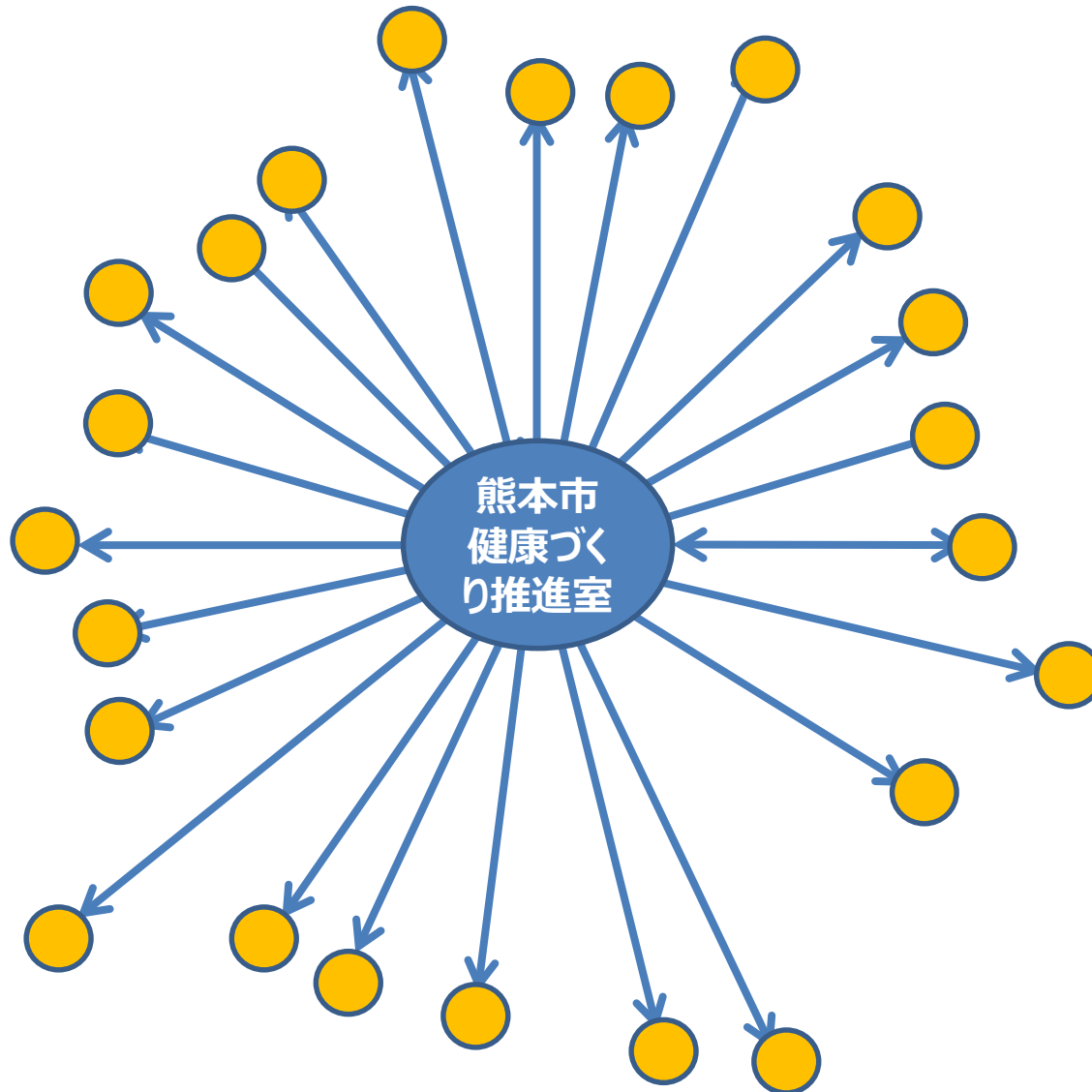
- 熊本市民病院腎臓専門医と代謝内科専門医 訪問
 - 熊本市医師会特定健診担当理事 訪問
- ↓
- 公的病院腎臓専門医、病診連携協力医
キーパーソンへインタビュー

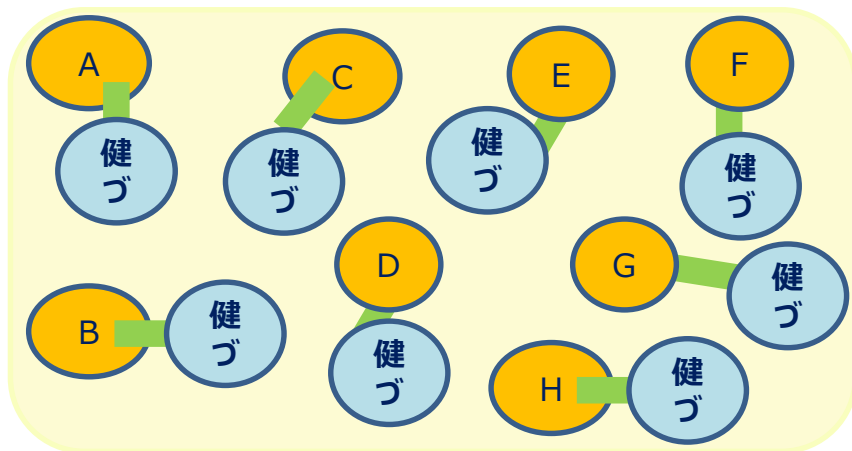
関係機関へ直接訪問、荷電、学会出席

<関係機関・団体>

熊本市医師会、熊大代謝内科、熊大薬学部、熊大循環器内科、全国慢性腎臓病協会、熊大小児科、熊本市医師会ヘルスケアセンター、熊本県総合保健センター、熊本県済生会健診センター、熊本県農協、熊本市公的病院連絡会、厚生労働省、熊本県栄養士会、熊本県国民健康保険連合会、熊本県看護協会、熊本市地域医療センター、熊本市地域包括支援センター協議会、熊本市教育委員会健康教育課、熊本県移植コーディネーター、熊本県薬務衛生課、浜松市保健所、高知市保健所医師、日本腎臓財団、福島県立医大、筑波大学医師、日本腎臓学会、日本高血圧学会、日本公衆衛生学会、産業看護研究会、5保健福祉センター

公的病院専門医、病診連携協力医、各関係機関・団体との 当初の関係図



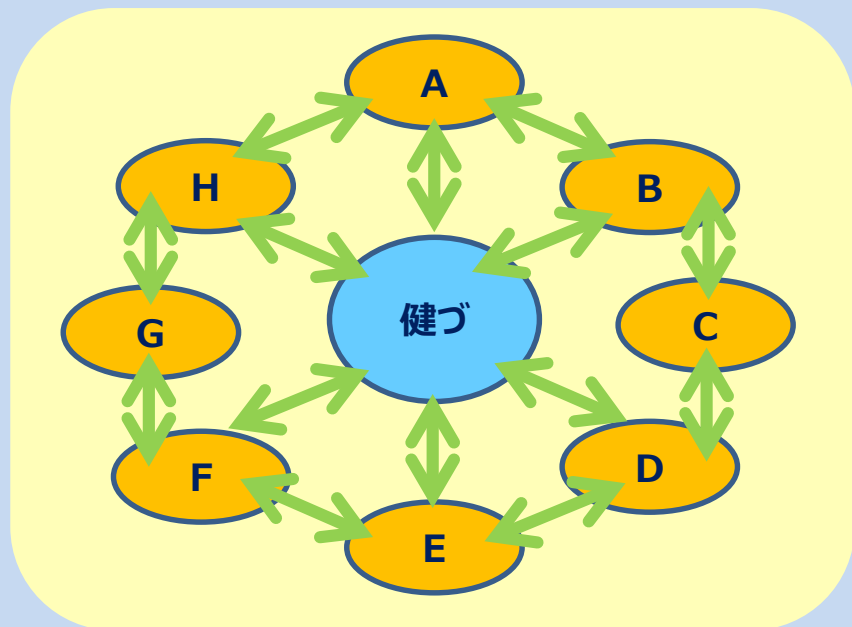


健康づくり推進室

(現在：健康づくり推進課)
 と医療機関等との直接結合は
 できたものの、まだ力を発揮できて
 いない状態（ベクトルは様々）



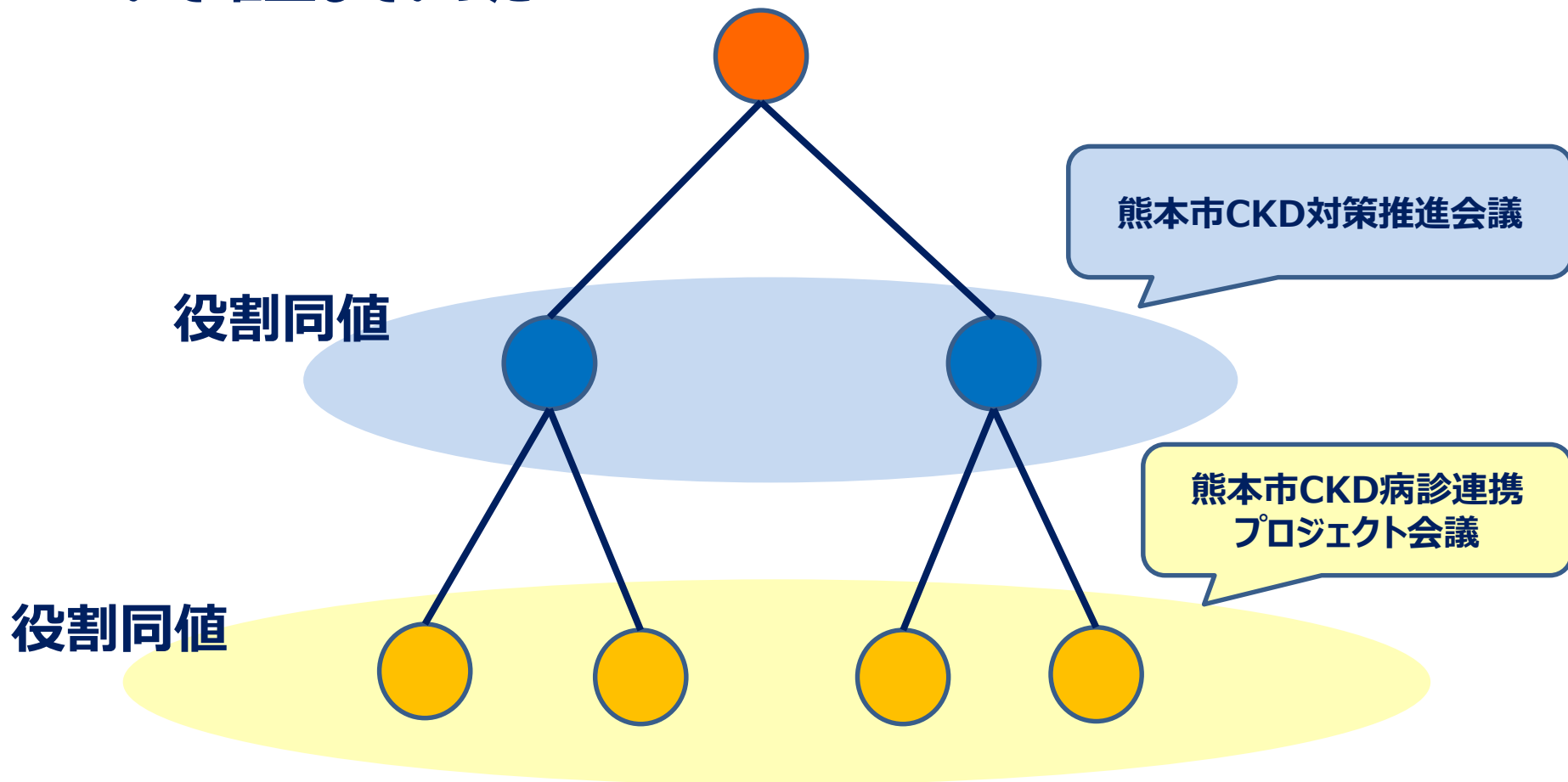
構造化



構造同値

同じ価値、同じベクトルを持った集
 合、構成員が入れ替わっても変化
 しない集団を作った！

構造同値になった集団を役割同値しているところとつなげて
会議を行い、CKD対策について意見を交え、取組み内容に
ついて確立していった



方法

CKD対策の取組み（4本柱）

- 啓発・早期発見
- 発症予防・進行抑制
- 悪化防止
- 推進体制の整備

